

令和5年度外務省官民連携推進事業（農林水産物・食品輸出促進アドバイザー）
ベトナム食品の市場・消費者動向、輸入状況、パートナー候補プロフィール
月次レポート（2023年8月分）
～ベトナムの食品・木材市場、輸出入動向～

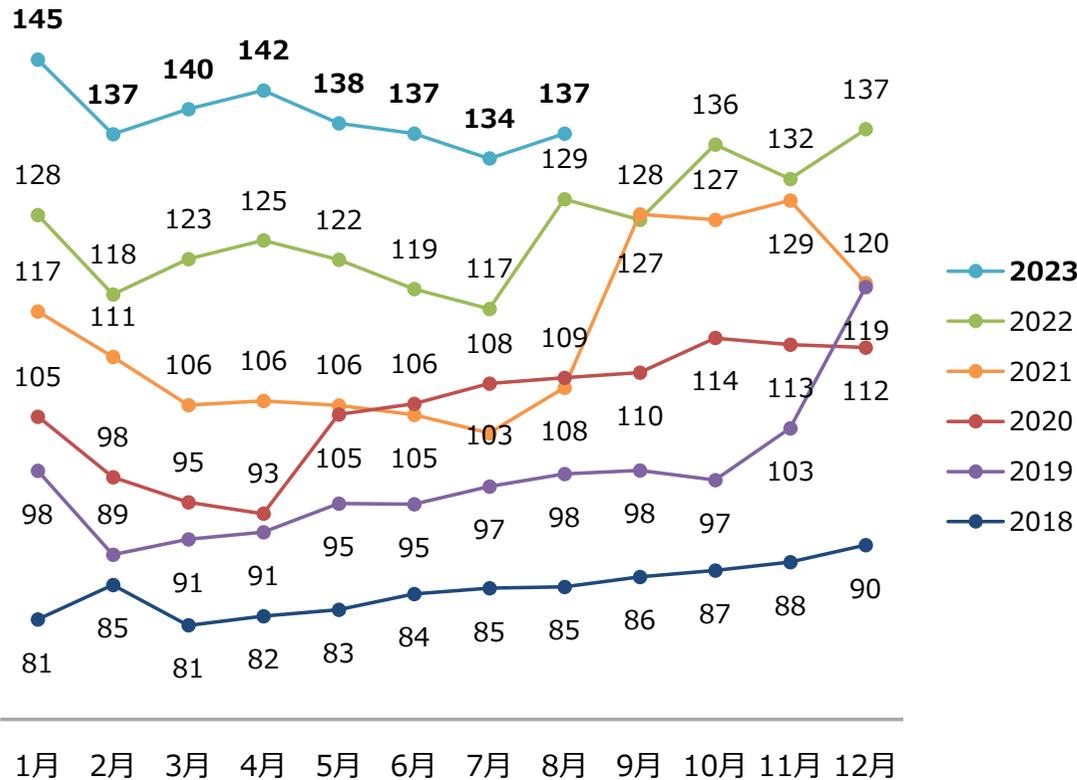
B&Company Vietnam Co., Ltd.

2023年9月

1. 食品市場の概要①：食品小売売上高

食品小売売上高は過去2年間の傾向と同じく、5～7月に減少したが、8月以降に増加する見込み
過去5年間で見ると、売上高全体は毎年増加している。また、今年需要水準は高い状態が続いている

ベトナムの食品小売売上高（兆VND）



全体概況

- 食品小売売上高は観光シーズン（8月）の消費者需要の拡大により若干増加した。あるスーパー*1の代表者によると、「2023年8月の消費者の食品に対する購買力は前月比7～10%上昇した」ようだ
- 政府、自治体による様々な需要喚起策、消費刺激策が行われている
 - ✓ 2大都市の需要喚起策に多くの企業が参加
 - ハノイ市：4,000社参加（2023年1月～現在）
 - ホーチミン市：3,000社参加（同6～9月末）
 - ✓ 付加価値税（VAT）の10%から8%への引き下げ（2023年7～12月末）*2
 - ✓ 公務員の賃金水準の引き上げ（2023年7月～）*3
- 例年の傾向として、年未年始とテト（旧正月）シーズンに向けて、食品小売売上高は引き続き増加すると予想される

*1 情報源には個別の企業名に関する記載がなかった

*2 付加価値税減税に関する政令「[Decree No.44/2023/ND-CP](#)」

*3 公務員、軍隊等の基本給に関する政令「[Decree No.24/2023/ND-CP](#)」（前回は2019年7月1日に引き上げられた）

資料：ベトナム統計総局（[GSO](#)）、ベトナム商工省（[MOIT](#)）、ハノイ市商工局（[Hanoi DOIT](#)）、ホーチミン市商工局（[HCM DOIT](#)）

1. 食品市場の概要②：CPIから見た需要

一般的に夏の終わりの季節や祭り（ヴーラン祭り、中秋節など）に備えて食品消費の需要が高くなる
特に果物や野菜の需要は高くなる傾向にあり、それに伴い消費者物価指数（CPI）も上昇する傾向にある

分類	需要が高まる時期	品目	2023年8月のCPI（前月比）
肉	• 観光シーズン • 夏の終わり	鶏肉	+1.23
		豚肉	+0.96
卵	• 中秋節（月餅生産のため）	卵	+2.04
原料	• 旧暦7月（仏教を信仰するベトナム人は旧暦7月にベジタリアン料理を食べる習慣がある）*1	砂糖、蜂蜜	+0.54
		魚醤、ディップソース	+0.35
		紅茶、コーヒー、ココア	+0.33
		牛乳、バター、チーズ	+0.22
青果		キャベツ	+3.40
		果物、野菜	+2.40
		トマト	+2.05
		ハーブ、スパイス	+1.88
		生豆	+1.28
飲料	• 観光シーズン	フルーツジュース	+0.49
		炭酸飲料	+0.31
		アルコール飲料	+0.23
食品全体の平均（飲料を含まない）			+0.48

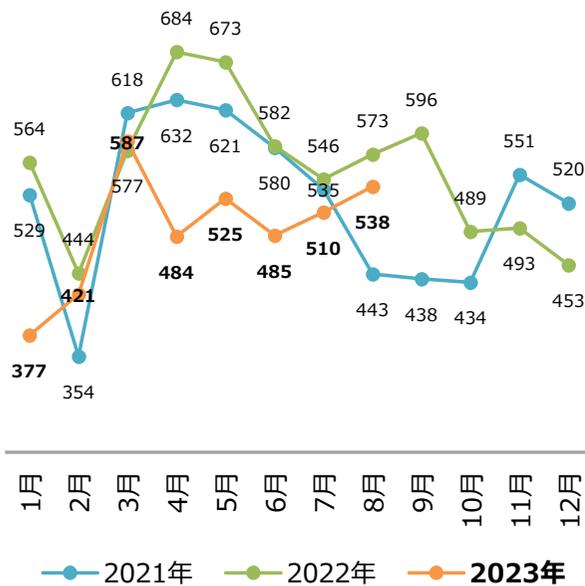
*1 ヴーラン祭り（先祖を祀る仏教の祭り：2023年8月30日）、ゴーストフェスティバル（2023年8月30日）を含む

資料：ベトナム統計総局（[GSO](#)）、ベトナム商工省（[MOIT](#)）

2. 主要品目の輸入状況

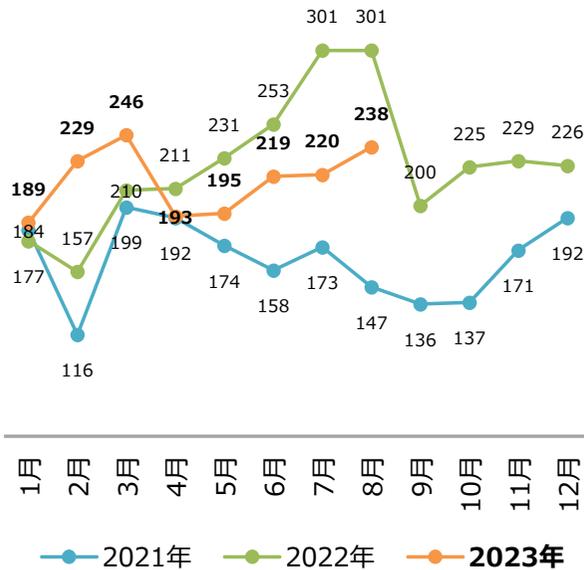
「繊維、衣料、皮革、靴の原料」、「水産物」、「木材、木材製品」の2023年の輸入額は、需要とビジネス環境の弱さ、国内生産と輸出の緩やかな改善を背景に低水準にとどまったが、ここ数か月は明るい兆しを見せている

繊維、衣料、皮革、靴の原料の輸入額
(百万USD)



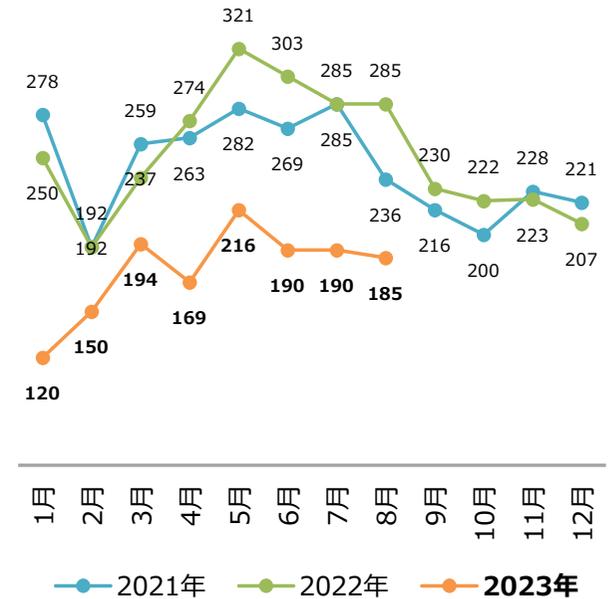
- 景気悪化により、全体的な輸入額は過去2年よりも依然として低い水準にある
- 2023年8月の輸入額は前月比5.6%増加し、2か月連続で増加した

水産物の輸入額
(百万USD)



- 第2四半期の輸入額は増加し続けている
- 要因としては以下が考えられる
 - ✓ 政府による支援と再輸出の増加
 - ✓ 2023年8月の時化により漁業が制限され、国内の水産資源の供給量が減少した（前年同期比約0.5%減少の約352万トン）

木材、木材製品の輸入額
(百万USD)



- 他の2品目に比べて前年からの減少幅が最も大きく、2022年半ばから現在まで前年比で上回らない状況にある
- 2023年6月以降は安定しているが、8月は前月比2.7%の微減となった。その要因として、米国輸出の苦境、規制の障壁が挙げられる

3. 木材市場①：はじめに

2023年の輸入額の大幅な減少傾向と日本の輸出の潜在的な可能性に基づき、ベトナムの「木材原料、木材製品」についてより深い状況把握が必要だと考え、今月のトピックに取り上げることとした

今月のトピックとして「木材市場」を選んだ理由

背景

- 「木材原料、木材製品」は国の経済成長の原動力の1つ
- 木材加工産業の輸出額は全体の6位。その輸出先としては米国に依存している

課題

- 木材加工産業は木材原料の国内生産と輸入により国内需要を満たしているが、輸出用家具の製造基準（原産地、FSC認証）を満たす木材原料は非常に少ない
- 2022年3月時点のFSC認証済みの森林資源の総面積は約5%と小さく、良質な木材の供給に課題が見受けられる
- 一方、2023年の木材の輸入額は前年比で大幅な減少傾向にある

要因

- 「木材原料、木材製品」の輸入額の減少について、主要な輸出先である米国の需要の減少、現在または今後の関連する規制などのいくつかの要因によることが分かった

日本の輸出可能性

- これまで「木材原料、木材製品」は日本の対ベトナム輸出最大の品目ではないが、原産地や品質などに優位性のある製品を取り扱う日本の木材輸出業者にとっては潜在的な輸出市場としてベトナムを候補に検討できると考える
- そのため、本レポートでは基本的な市場概況と最近の輸入動向をまとめることとした

3. 木材市場②：木材原料の市場概況

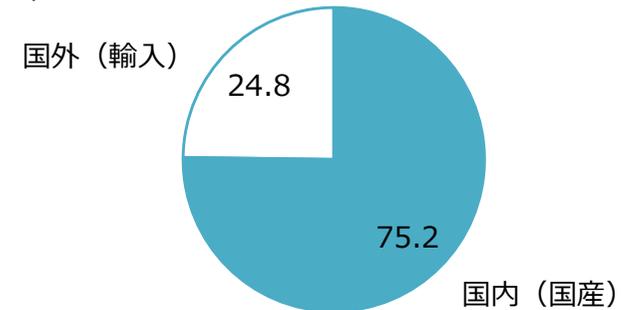
ベトナムの木材製造は原料の国内生産と輸入の両方に依存している
輸出用の木材製品を生産するには国内生産が量・質ともに低い水準にある

ベトナムの木材原料の国内生産能力

- **人工林造成の限界**：一年当たりの人工林造成面積は10～15m³/haと非常に小さい
- **木材原料の活用先**：木材原料のうち30～40%が木材製品の加工に使用され、60～70%がチップや圧縮木材の製造に使用されている
- **木材原料の品質の低さ**：輸出用家具の製造基準（原産地、FSC認証）を満たす木材原料はごくわずか（以下、2022年3月時点の情報）
 - ✓ FSC認証済みの森林資源の総面積は約5%に過ぎない（VFCS/PEFC認証済みの森林資源を含めても7%未満）
 - ✓ 一方、輸出業者の高品質木材に対する需要については、統計データは見つからなかったが、非常に高いとされる
 - ✓ [Woodsland Tuyen Quang](#)（ベトナム最大手の木製家具メーカー）*1の社長（Ms. Do Thi Bach Tuyet）によると、「輸出には木材原料の90%以上がFSC/FM認証済みの森林資源からのものであることが求められる」とのこと

ベトナムの木材原料の供給源（%）

(100%=3,100万m³)



- 在ベトナム米国森林動向機構（[FTO](#)）のCEO（Mr. To Xuan Phuc）によると、「国内供給量は年間約2,300万m³に過ぎず、残りは輸入に依存している。輸入はほぼ丸木と製材で、その量は年間500～600万m³」とのこと



丸木



製材

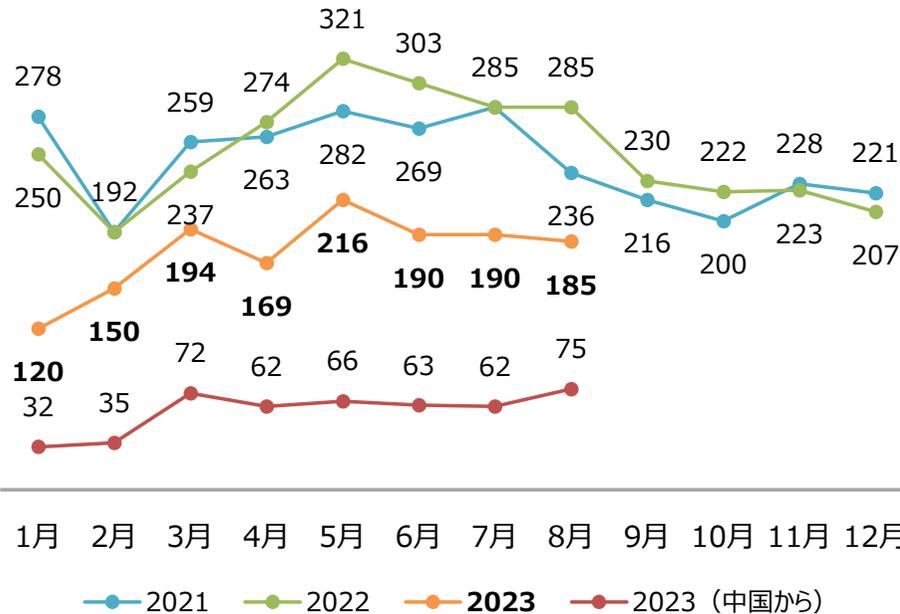
*1 家具用の木材加工品、工業用の合板などをEU、米国、日本などに輸出している

資料：[VIFOREST](#)（ベトナム木材林産物協会）、[Forest Trends](#)（米国生態系維持NPO）、[VN Business](#)（ベトナム経済ニュースサイト）、[Thoi Bao Tai Chinh](#)（同左）

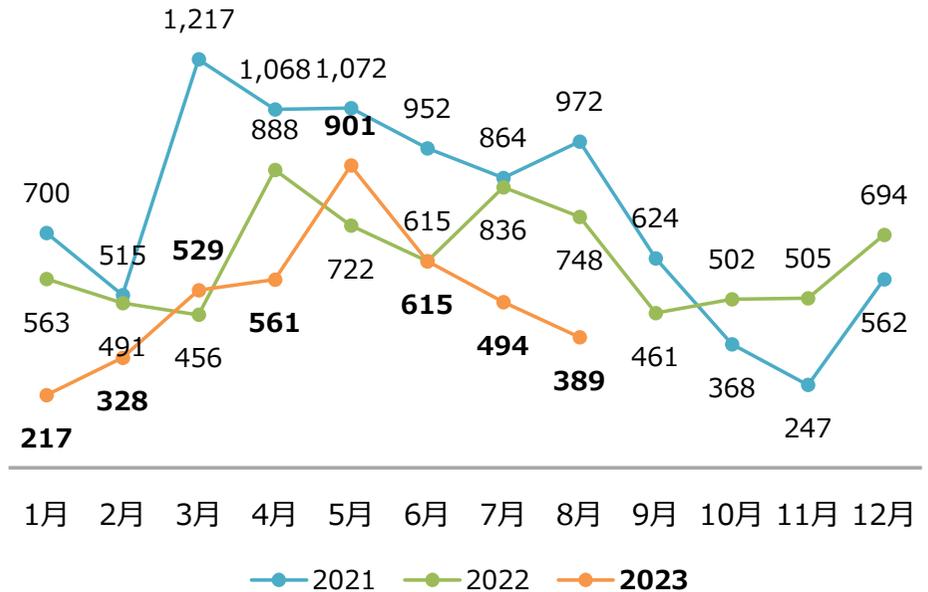
3. 木材市場③：木材原料、製品の輸入状況

木材の輸入額は2023年1月に大幅に減少している。その後増加しているが、過去2年の水準を下回ったままである
他の国の木材の代替品として日本の木材の需要があるようだが、日本からの輸入額も過去2年の水準を下回っている

木材原料、木材製品の輸入額（百万USD）



木材原料、木材製品の日本からの輸入額（千USD）



- 2022年半ばからの減少は例年の傾向に近いが、2023年1月に例年とは異なる動向が見られ、大幅な減少となった
- その後は増加傾向にあるものの、過去3年間に比べて低い水準で推移している。その要因として米国輸出の苦境と規制の障壁が挙げられる（次頁以降で詳細を見ていく）

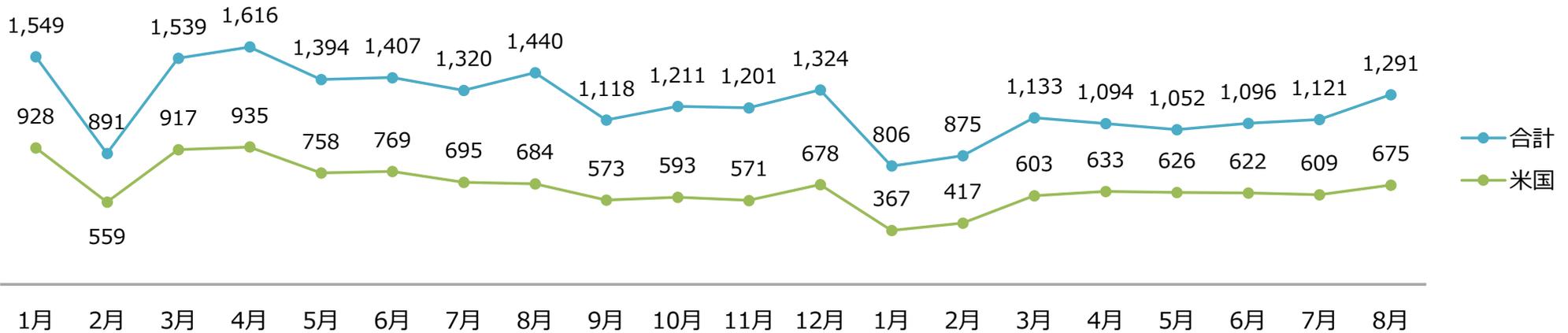
- 全体の輸入額（左図）と日本からの輸入額（右図）は似たような動向を示している。2023年は5月をピークに減少に転じている
- 日本製品の輸出可能性**：[Giang Wood Company](#)（木造住宅専門メーカー）のディレクター（Mr. Giang）によると、「南アフリカ産の広葉樹の代替品として日本の針葉樹の無垢材製品に関心がある」とのこと。このことから、原産地や品質で優位性のある日本製品の輸出を促進できる可能性がある
 - ✓ **日本製品の優位性**：原産地、職人の技術力
 - ✓ **日本製品の劣位性**：価格の高さ、認知度の低さ

資料：ベトナム統計総局（[GSO](#)）、ベトナム商工省（[MOIT](#)）

3. 木材市場④：輸入減少の要因、米国輸出の苦境

ローン金利の上昇、過剰在庫、インフレ圧力による節約志向（家具より必需品を優先する傾向）の結果、木材製品に対する米国の購買力が低下している。それに伴いベトナムの木材製品の輸出が減少し、木材原料の輸入が減少している

ベトナムの木材原料、木材製品の米国への輸出額（百万USD）



要因①：米国のローン金利の高さ

- 住宅ローンの金利が高く、借りに消極的である
 - ✓ **固定金利の高さ**：30年住宅ローンの場合、年利7.23%（前年同期は年利5.55%）
 - ✓ **住宅購買力が過去数十年で最低の水準**：2023年7月の米国の中古住宅の市場規模は前月比約2.2%の減少、前年同期比約16.6%の減少となった

要因②：米国の過剰在庫、消費引き締め

- VIRAC（ベトナムの市場調査会社）によると、米国の消費者の80%以上が「今後3～6か月の木材製品への支出を減らす」と回答している
 - ✓ Phu Tai（米国市場専門の木材輸出業者）の副社長（Mr. Nguyen Sy Ho）によると、「米国への木材製品の輸出について、2022年後半以降、特に屋外向け製品が急減している。米国の**過剰在庫と需要減少**によるものと考えられる」とのこと
 - ✓ VIFOREST（ベトナム木材林産物協会）の会長（Mr. Do Xuan Lap）によると、「米国からの木材製品の受注について、現在、適正在庫の製品を中心に**少ロットを受注している企業が多い**」ようだ

3. 木材市場⑤：規制の障壁

ベトナムの木材輸出業者は米国の貿易救済措置の厳格化により、優位性を生かせないなどの課題に直面している
さらに、EUの森林減少規制の施行も控えているため、実務的な面でも課題が増えそうな状況にある

	米国の貿易救済措置に関する調査	EUの森林減少規制（EUDR）
概況	<ul style="list-style-type: none"> ベトナムの木材製品に対する最近の米国の貿易救済措置に関する調査は、ベトナムの輸出業者の課題となっている <ul style="list-style-type: none"> ✓ 関連する調査対象に「合板*1」が含まれる。2020年から調査が実施されているが、調査対象として最終的に決定したのは2023年7月18日。中国からの輸入品に課される税率と同等の関税（アンチダンピング関税183%、反補助金税23%）が課される 	<ul style="list-style-type: none"> 合法性や持続可能性に関する要求事項を満たさない製品のEU市場への持ち込みやEU市場への輸出入を禁止する規則 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 森林破壊された土地に関連する製品、2020年12月31日以降に発生した森林劣化に寄与した製品の輸出入を禁止している ✓ 有効期限：2024年12月（中小企業の場合は2025年6月）
予想される今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 米国ではこのような貿易救済措置が今後増加していくと予想される。その要因として以下が挙げられる <ul style="list-style-type: none"> ✓ 労働志向の政策を採っていること ✓ 現在、経済不況であること ✓ 米国商務省が認定している非市場経済国*2であるベトナムに対して、パートナー国とともに厳しい声明を発表し、不公正な取引慣行に対処するべく一連の法案を提出している状況にあること 貿易救済措置に関する関税による実質的な増税や米国の輸入規制を避けられない可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> VIFOREST（ベトナム木材林産物協会）の副社長（Mr. Ngo Si Hoai）によると、「ベトナムは既に森林法を制定し、EUとのパートナーシップ協定に署名しているため、EUDRがEU向けの木材製品の輸出に大きな影響を与えることはない」とのこと <ul style="list-style-type: none"> ✓ 2017年：森林法を制定（天然林を閉鎖） ✓ 2018年：森林施行法、ガバナンス、貿易を強化するためのEUとのパートナーシップ協定に署名 ただし、ベトナムの輸出業者は以下の課題に直面する可能性がある <ul style="list-style-type: none"> ✓ EUDRが厳格に施行されていても、規制の知識や準備が不足する ✓ これまで以上に手続きが増え、煩雑化する

*1 もう1つの関連する調査対象は「木製キャビネット製品」であるが、正式な決定はまだ発表されていない

*2 現在、米国商務省が「非市場経済国」としている国は中国やベトナムを含む11か国である。これらの国からの輸入に対して米国が発動するアンチダンピング関税（AD）や相殺関税（CVD）の税率については高く算定される可能性がある。2023年9月11日に行われたベトナムのチン首相と米国のバイデン大統領との会談では、2国間の貿易や投資をさらに促進させるために、チン首相がバイデン大統領に「ベトナムに対する速やかな市場経済国認定」を要請したという動きもある

資料：EUDRに適應するための行動計画に関する要請「[Official Dispatch No.5179/BNN-HTQT](#)」、ベトナム商工会議所（[VCCI](#)）、[VIFOREST](#)（ベトナム木材林産物協会）

4. バイヤー候補：菓子類

ここでは日本の菓子類のバイヤー候補のプロフィールを紹介する

いずれも日本製品の取り扱いや日本企業との取引経験のある企業を選定している

No	企業名	本社所在地	設立年	事業内容			主要取扱製品					備考
				輸入	卸売	小売	生鮮、 冷凍	菓子	缶詰	香辛料	飲料	
1	Vietnam Yamato Import Export Services Trading Co., Ltd.	232 Nguyen Van Quy, Quarter 1, District 7, Ho Chi Minh	2013	○	○	○	○	○	○	○	○	米関連の食材、食品の専門店
2	Toan Gia Hiep Phuoc Trading Co., Ltd.	Block 004 Lakeview 2, No. 21 To Huu, Thu Duc City, Ho Chi Minh	2005	○	○		○	○	○	○	○	2016年7月に 加藤産業 （日本）が100%所有する外資企業へ
3	Huong Thuy Manufacture Service Trading Corporation	C10, 39 Areas 18A, Nguyen Huu Tho, Nha Be, Ho Chi Minh	2007	○	○			○	○	○	○	双日 （51%）、 国分 （19%）の合併会社
4	Amisu Services Supplying Co., Ltd.	No. 42, Lane 643, Pham Van Dong, Bac Tu Liem, Hanoi	2007	○	○			○			○	アジアのアイスクリームの専門商社
5	Lap Son Trading Service Co., Ltd.	No. 42 Street 14, Go Vap, Ho Chi Minh	2013	○	○			○	○	○	○	高品質、安全、健康的な食品、特に子ども向けの食品に注力
6	VTMH Services Trading Co., Ltd.	12F, 285 Cach Mang Thang Tam, District 10, Ho Chi Minh	2016			○	○	○	○	○	○	ギフト包装サービスを提供
7	Fujimart Vietnam Retail Co., Ltd.	No. 142, Le Duan, Dong Da, Hanoi	2018			○	○	○	○	○	○	BRG Group （ベトナム）、 住友商事 （日本）の合併会社